

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年12月26日
【四半期会計期間】	第141期第3四半期（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）
【会社名】	オリンパス株式会社
【英訳名】	OLYMPUS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 高山 修一
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号
【電話番号】	東京3340局2111番(代表)
【事務連絡者氏名】	総務部長 新本 政秀
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿2丁目3番1号 新宿モノリス
【電話番号】	東京3340局2111番(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 大西 伸幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年12月14日に提出いたしました第141期第3四半期（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）四半期報告書の訂正報告書の記載事項に一部誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

## 2【訂正事項】

1 四半期報告書の訂正報告書の提出理由

4. 影響金額

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書

第3 四半期連結累計期間

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

追加情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

(四半期連結損益計算書関係)

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_線で示しております。

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

4. 影響金額

(訂正前)

連結貸借対照表では、当社は訂正期間期首（平成18年4月1日）において、ファンドを連結することにより、当該損失120,059百万円の金額を期首利益剰余金から減額しています。

また、貸借対照表では同期首において、「関係会社投資」に対する損失見込額120,675百万円を期首剰余金から減額しています。

なお、上述の通り、損失の分離に利用された特定資産は、平成19年以降の複数の子会社の買収資金及びファイナンシャル・アドバイザーに支払った報酬や優先株の買戻資金の受け皿ファンドへの還流により回収されました。

(訂正後)

連結貸借対照表では、当社は訂正期間期首（平成18年4月1日）において、ファンドを連結することにより、当該損失118,352百万円の金額を期首利益剰余金から減額しています。

また、貸借対照表では同期首において、「関係会社投資」に対する損失見込額118,419百万円を期首剰余金から減額しています。

なお、上述の通り、損失の分離に利用された特定資産は、平成19年以降の複数の子会社の買収資金及びファイナンシャル・アドバイザーに支払った報酬や優先株の買戻資金の受け皿ファンドへの還流により回収されました。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第141期 第3四半期連結 累計期間	第141期 第3四半期連結 会計期間	第140期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(百万円)	754,185	218,395	1,128,875
経常利益(百万円)	26,030	2,196	97,312
四半期(当期)純利益又は純損失 (△)(百万円)	△35,303	△30,763	54,625
純資産額(百万円)	—	111,766	244,281
総資産額(百万円)	—	1,056,719	1,217,172
1株当たり純資産額(円)	—	384.67	861.58
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は純損失金額(△)(円)	△131.78	△115.12	202.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	202.07
自己資本比率(%)	—	9.8	19.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	22,616	—	88,204
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	△720	—	△274,104
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	21,077	—	134,401
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	—	<u>156,704</u>	119,842
従業員数(人)	—	38,443	35,772

(訂正後)

回次	第141期 第3四半期連結 累計期間	第141期 第3四半期連結 会計期間	第140期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高 (百万円)	754,185	218,395	1,128,875
経常利益 (百万円)	26,030	2,196	97,312
四半期 (当期) 純利益又は純損失 (△) (百万円)	△35,303	△30,763	54,625
純資産額 (百万円)	—	111,766	244,281
総資産額 (百万円)	—	1,056,719	1,217,172
1株当たり純資産額 (円)	—	384.67	861.58
1株当たり四半期 (当期) 純利益 金額又は純損失金額 (△) (円)	△131.78	△115.12	202.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期) 純利益金額 (円)	—	—	202.07
自己資本比率 (%)	—	9.8	19.1
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	22,616	—	88,204
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△720	—	△274,104
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	21,077	—	134,401
現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高 (百万円)	—	<u>155,021</u>	119,842
従業員数 (人)	—	38,443	35,772

## 第5【経理の状況】

### 1【四半期連結財務諸表】

#### (1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
(省略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	71,064	94,006
ファンド運用資産	※3, ※5 8,896	※3 67,816
その他	※4 84,797	68,115
貸倒引当金	※4 △5,209	※4 △415
投資その他の資産合計	159,548	229,522
固定資産合計	553,909	709,983
資産合計	1,056,719	1,217,172
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 68,241	83,602
短期借入金	106,091	338,787
1年内償還予定の社債	25,014	35,201
未払法人税等	15,946	14,271
製品保証引当金	8,390	10,141
その他の引当金	72	133
その他	137,842	162,738
流動負債合計	361,596	<u>644,873</u>
固定負債		
社債	130,500	105,397
長期借入金	401,256	177,371
退職給付引当金	12,245	10,317
その他の引当金	127	574
その他	39,229	34,360
固定負債合計	583,357	328,019
負債合計	944,953	<u>972,892</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,332	48,332
資本剰余金	73,049	73,049
利益剰余金	70,346	115,285
自己株式	△12,857	△2,634
株主資本合計	178,870	234,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,065	5,334
繰延ヘッジ損益	1,693	34
為替換算調整勘定	△74,711	△6,567
評価・換算差額等合計	△76,083	△1,199
少数株主持分	8,979	<u>11,447</u>
純資産合計	111,766	244,281
負債純資産合計	1,056,719	1,217,172

(訂正後)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
(省略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	71,064	94,006
ファンド運用資産	※3, ※5 8,896	※3 67,816
その他	※4 84,797	68,115
貸倒引当金	※4 △5,209	△415
投資その他の資産合計	159,548	229,522
固定資産合計	553,909	709,983
資産合計	1,056,719	1,217,172
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 68,241	83,602
短期借入金	106,091	338,787
1年内償還予定の社債	25,014	35,201
未払法人税等	15,946	14,271
製品保証引当金	8,390	10,141
その他の引当金	72	133
その他	137,842	162,738
流動負債合計	361,596	644,872
固定負債		
社債	130,500	105,397
長期借入金	401,256	177,371
退職給付引当金	12,245	10,317
その他の引当金	127	574
その他	39,229	34,360
固定負債合計	583,357	328,019
負債合計	944,953	972,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,332	48,332
資本剰余金	73,049	73,049
利益剰余金	70,346	115,285
自己株式	△12,857	△2,634
株主資本合計	178,870	234,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,065	5,334
繰延ヘッジ損益	1,693	34
為替換算調整勘定	△74,711	△6,567
評価・換算差額等合計	△76,083	△1,199
少数株主持分	8,979	11,448
純資産合計	111,766	244,281
負債純資産合計	1,056,719	1,217,172

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

		当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
(省略)		
特別利益		
投資有価証券売却益		<u>0</u>
特別利益合計		<u>0</u>
(省略)		

(訂正後)

(単位：百万円)

		当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
(省略)		
特別利益		
投資有価証券売却益		<u>二</u>
特別利益合計		<u>二</u>
(省略)		

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】  
(訂正前)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,278
減価償却費	34,165
減損損失	952
のれん償却額	34,126
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,548
受取利息及び受取配当金	△3,066
支払利息	11,849
ファンド関連損失	1,316
投資有価証券評価損益(△は益)	10,683
売上債権の増減額(△は増加)	19,226
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,374
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,248
未払金の増減額(△は減少)	2,868
未払費用の増減額(△は減少)	△16,173
その他	<u>△3,093</u>
小計	<u>65,501</u>
利息及び配当金の受取額	3,117
利息の支払額	△10,431
ファンド資金の流出	△4,763
法人税等の支払額	△30,808
営業活動によるキャッシュ・フロー (省略)	<u>22,616</u>



(訂正後)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純損失(△)	△12,278
減価償却費	34,165
減損損失	952
のれん償却額	34,126
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,548
受取利息及び受取配当金	△3,066
支払利息	11,849
ファンド関連損失	1,316
投資有価証券評価損益(△は益)	10,683
売上債権の増減額(△は増加)	19,226
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,374
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,248
未払金の増減額(△は減少)	2,868
未払費用の増減額(△は減少)	△16,173
ファンド関連貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,763
その他	△7,858
小計	65,501
利息及び配当金の受取額	3,117
利息の支払額	△10,431
ファンド資金の流出	△4,763
法人税等の支払額	△30,808
営業活動によるキャッシュ・フロー (省略)	22,616

【追加情報】

(訂正前)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
ファンド運用資産	四半期連結貸借対照表上、受け皿ファンドが保有する資産を「ファンド運用資産」として一括表示しています。これは、当社が行う通常の投資とは異なり、損失の分離及び解消取引に係る一連のスキームに基づき一体運用されたものであるためです。訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、過去の含み損失の分離及びその解消取引の経緯について、複数名の役員が把握していましたが、第三者委員会による調査報告書の指摘及び社内調査の結果、各受け皿ファンドの法的形式及び運用主体並びに損失の分離時点以降各受け皿ファンドの清算までの期間に係る具体的な運用資産、評価額等に関する情報が十分に管理されていないことが判明しました。このため、損失の分離及び解消スキームに関係していた外部関係者から会計情報の提供を受け、訂正報告書の作成を行っています。

(訂正後)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
ファンド運用資産	<p>当社は1990年代頃から有価証券投資、デリバティブ取引等にかかる多額な損失を抱え、その損失計上を先送りするため、平成12年3月期以降、含み損の生じた金融資産・デリバティブ取引等を譲り受ける連結対象外の受け皿となる複数のファンド（以下、「受け皿ファンド」という。）に分離しました。四半期連結貸借対照表上、受け皿ファンドが保有する資産を「ファンド運用資産」として一括表示しています。これは、当社の行う通常の投資とは異なり、損失の分離及び解消取引に係る一連のスキームに基づき一体運用されたものであるためです。訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、過去の含み損失の分離及びその解消取引の経緯について、複数名の役員が把握していましたが、第三者委員会による調査報告書の指摘及び社内調査の結果、各受け皿ファンドの法的形式及び運用主体並びに損失の分離時点以降各受け皿ファンドの清算までの期間に係る具体的な運用資産、評価額等に関する情報が十分に管理されていないことが判明しました。このため、損失の分離及び解消スキームに関係していた外部関係者から会計情報の提供を受け、訂正報告書の作成を行っています。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
<p>※3 ファンドが保有する資産を「ファンド運用資産」として一括表示しています。これは、当社の行う通常の投資とは異なり、一連のスキームに基づき一体運用されたものであるためです。当該「ファンド運用資産」は、<u>訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、関連資料等が十分に管理されていなかったことからスキームに関係していた外部関係者から会計情報の提供を受けて補完しています。</u></p>	<p>※3 <u>ファンドが保有する資産を「ファンド運用資産」として一括表示しています。これは、当社の行う通常の投資とは異なり、一連のスキームに基づき一体運用されたものであるためです。当該「ファンド運用資産」には主に預け金、投資有価証券が含まれていますが、訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、関連資料等が十分に管理されていなかったことからスキームに関係していた外部関係者から会計情報の提供を受けて補完しています。</u></p>

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
<p>※3 <u>受け皿</u>ファンドが保有する資産を「ファンド運用資産」として一括表示しています。これは、当社の行う通常の投資とは異なり、一連のスキームに基づき一体運用されたものであるためです。当該「ファンド運用資産」には主に預け金、投資有価証券が含まれていますが、<u>訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、関連資料等が十分に管理されていなかったことからスキームに関係していた外部関係者から会計情報の提供を受けて、訂正報告書の作成を行っています。</u></p>	<p>※3 <u>同左</u></p>

(四半期連結損益計算書関係)

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
※3 特別損失に計上された「ファンド関連損失」1,316百万円は、 <u>ファンド資産の運用</u> に関する支払利息、支払手数料等であります。
※4 「貸倒引当金繰入額」4,763百万円は、ファンド関連の支払手数料のうち投資その他の資産の「その他」に計上された <u>長期未収金</u> のうち回収不能と見込まれる金額であります。

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
※3 特別損失に計上された「ファンド関連損失」439百万円は、 <u>ファンド資産の運用</u> に関する支払利息、支払手数料等であります。
※4 「貸倒引当金繰入額」950百万円は、ファンド関連の支払手数料のうち投資その他の資産の「その他」に計上された <u>長期未収金</u> のうち回収不能と見込まれる金額であります。

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
※3 特別損失に計上された「ファンド関連損失」1,316百万円は、 <u>受け皿ファンドの資産運用</u> に関する支払利息、支払手数料等であります。
※4 「貸倒引当金繰入額」4,763百万円は、ファンド関連の支払手数料のうち投資その他の資産の「その他」に計上された <u>長期未収入金</u> のうち回収不能と見込まれる金額であります。

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
※3 特別損失に計上された「ファンド関連損失」439百万円は、 <u>受け皿ファンドの資産運用</u> に関する支払利息、支払手数料等であります。
※4 「貸倒引当金繰入額」950百万円は、ファンド関連の支払手数料のうち投資その他の資産の「その他」に計上された <u>長期未収入金</u> のうち回収不能と見込まれる金額であります。